

職場の安全風土の評価法

目的 ヒューマンエラーの防止には、その誘発要因となる問題点の的確な洗い出しがカギとなります。職場の安全風土の評価は、事故やトラブルが顕在化していなくても取り組める事故予防活動であり、職場や組織といった大きな観点で**現状の問題点を抽出して気づきを促し、安全に向けた職場づくりの改善点を明確にします。**

内容 職場の現状に関する100個程度の質問に7段階評定で回答します。回答結果に職種の特徴に応じた重みづけをしたり、同条件の職場との相対評価などを加味したりして、5段階の評価ランクを評価要因ごとに算出します。結果をもとに社員で討議して改善策を探索していきます。

安全風土とは

職場や作業を規定する様々な要因に対する職場の人々の認識の内容や程度（価値観や態度）のことです。なお、ここでの「要因」とは、「職場環境や作業条件」だけでなく、「管理者への信頼感や、職場の雰囲気、同僚への安心感・信頼感といった社会心理学的なもの」も含まれます。

評価分類と評価要因 (個別の評価項目は評価要因の下位項目)

分類	評価要因	分類	評価要因
安全管理要因	作業特性	社会心理学的要因	リーダーシップ(課題遂行)
	物理的条件		リーダーシップ(機能維持)
	作業負担		職場同僚への信頼感
	組織条件		職場のコミュニケーション
	教育・訓練		職場の雰囲気
	マニュアル・手順書	メンバーの姿勢	安全行動
	作業計画・指示		安全思考
	機器や環境の管理		原因帰属
	安全活動		能力・態度
	自己分析・情報活用		モチベーション
	評価		
	関係個所との連携		

最終評価ランクと内容

優良	当該評価要因に対する取り組みが、同じ条件(地域・職種系統)の職場と比較して極めて良好な状態
良好	当該評価要因に対する取り組みが、同じ条件(地域・職種系統)の職場と比較してやや良好な状態
平均的	当該評価要因に対する取り組みが、同じ条件(地域・職種系統)の職場と比較して平均的な状態
注意	当該評価要因に対する取り組みが、同じ条件(地域・職種系統)の職場と比較してやや劣っている状態
警戒	当該評価要因に対する取り組みが、同じ条件(地域・職種系統)の職場と比較して極めて劣っている状態

- 鉄道総研では、職場の安全風土の評価に関わる講習会、職場の安全風土の調査・評価の実施などのご相談をお請けすることができます。